

※保育園(所)は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。

感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の提出をお願いします。

※感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育園(所)生活が可能な状態となつてからの登園であるようご配慮ください。

＜医師用＞

意 見 書

めぶき園 施設長 松川 満 殿

園児氏名 _____

生年月日 _____

病名「

年 月 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので登園可能と判断します。

年 月 日 _____

医療機関 _____

医 師 名 _____

印 (またはサイン) _____

○医師が記入した意見書が望ましい感染症

感 染 症 名	感 染 し や す い 期 間	登園のめやす
麻しん (はしか)	発症 1日前から発疹出現の 4日後まで	解熱後 3日を経過してから
風しん (三日はしか)	発疹出現の前 7日から後 7日間くらい	発疹が消失してから
水 痘 (水ぼうそう)	発疹出現 1~2日前から痂皮形成まで	すべての発疹が痂皮化してから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症 3日前から耳下腺腫脹後 4日	耳下腺・頸下腺・舌下腺の腫脹が発現してから 5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱・充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え 2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は 5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症 (O157・O26・O111 等)		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間あけて連続 2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から 1~2週間、便から数週間~数ヶ月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで